

ORIGAMI

TANTEIDAN

# 折紙探偵団

M A G A Z I N E

イベント情報

定価 600円

## 第8回 折紙探偵団コンベンション日程発表

Information About the 8th Origami Tanteidan Convention



クローズアップ Close-up : Making and Developing of the Ryu Zin : Eastern Dragon

## 龍神を作る 神谷哲史

Kamiya Satoshi

折り図

## シロナガスクジラ Blue Whale 神谷哲史 Model and Diagrams by Kamiya Satoshi

Skull Model designed by Herman van Goubergen

## 髑髏 ヘルマン・ヴァン・グーベルジャン

好評連載

Tomoko in the Box : Fuse Tomoko / Tomoko's Shikishi-Hyakka : Tanaka Tomoko / Let's Enjoy Math through Origamics : Haga Kazuo / Tomokoのびっくり箱:布施知子 / ともこさんの色紙百花:田中具子 / 数理を楽しむオリガミクス Takagi Satoshi's the Origami Reference Room : Takagi Satoshi / Origami Sampo Still Goes On : Maekawa Jun : 芳賀和夫 / 高木 智の折り紙資料館:高木 智 / も少し折紙散歩:前川 淳

通巻 72 号

# 日本折紙学会 (JOAS) の理念

The Purpose of Japan Origami Academic Society

## 第一章 名称と目的

### 第一条 会の名称

1. 本会の名称は日本折紙学会とする。
2. 本会の英語での名称は、Japan Origami Academic Societyとする。
3. 本会の略称は、JOASとする。

### 第二条 会の目的

1. 本会は、折り紙の専門研究と折り紙の普及の促進、ならびに、それらを通しての広く国内、外の折り紙愛好家との交流の促進を目的とする。
2. 第一項の折り紙の専門研究とは、折り紙の創作、折り紙の創作技術の研究、折り紙に関する批評・評論、数学研究、教育研究、歴史・書誌研究、先取権の研究、工学・商業デザインの研究等を意味する。
3. 第一項の折り紙の普及とは、折り紙の社会的認知度の向上活動、折り紙愛好者層の拡大活動、折り紙に関する人材の育成と発掘等を意味する。

規約第1章より抜粋

## Chapter 1: Name and Purpose

### Article 1: Name

1. This society is to be called Nihon Origami Gakkai in Japanese.
2. This society is to be called Japan Origami Academic Society in English.
3. The abbreviated name of this society is JOAS.

### Article 2: Purpose

1. The purpose of JOAS is to promote studies of origami, diffusion of origami, and both domestic and international association of all origami-lovers.
2. The studies of origami mentioned above includes designing, designing techniques, criticism, mathematical studies, educational studies, history, bibliography, studies on the preferential right, studies of industrial and commercial design, and so on.
3. The diffusion of origami mentioned above includes widening appreciation of origami, expansion of the community of origami-lovers, scouting and rearing the origami talent, and so on.

## ● 折り方の約束記号 SYMBOL FOR FOLDING

谷折り線  
Line indicating  
valley fold.

山折り線  
Line indicating  
mountain fold.

手前に折る  
Fold forward.

後ろへ折る  
Fold backward.

折り筋を  
つける  
Fold and unfold.

段折り  
Pleat.

裏返す  
Turn over.

引き出す  
Pull out flap.

図の見る  
位置が変わる  
Rotate.

図が  
大きくなる  
Diagram enlarged.

見えない  
ところ  
X-ray.

押す、  
押しつぶす  
Push here.

切る  
Cut.

## 表紙作品解説

髑髏(どくろ) (P.28)

作: ヘルマン・ヴァン・グーベルジャン

Skull (P.28)

Herman van Goubergen

■ 作品を鏡の上に置くことによって始めてその全貌があきらかになるという、これまでにない意外なコンセプト。なんとも不思議で神秘的なこの作品には、隠し絵やパズルが好きなのは特に強く惹きつけられるでしょう。一度折っただけではうまくできないかもしれませんが、あきらめずに納得のいくまで挑戦し続けることが大切。小松氏による作例の、繊細な折り技術にも要注目です。(解説: 北條高史) Comments: Hojyo Takashi



ORIGAMI TANTEIDAN  
**折紙探偵団**  
 MAGAZINE

No. **72**

**C O N T E N T S**

■ 好評連載陣 Series

**Tomokoのびっくり箱** 4  
 Tomoko in the Box  
**てまり桜** Cherry Blossom Ball  
 布施知子 Fuse Tomoko

**ともさんの色紙百花** 8  
 Tomoko's Shikishi-hyakka  
**カタクリの花** Dogtooth Violets  
 田中具子 Tanaka Tomoko

**数理を楽しむオリガミクス** 14  
 Let's Enjoy Math through Origamics  
 「1回折ると何角形？」の数学的展開  
 Mathematical expansion of a theme of the last issue,  
 "How many corners can I make when I fold a square  
 sheet of paper only once?"  
 芳賀和夫 Haga Kazuo

**高木 智の折り紙資料館** 16  
 Takagi Satoshi's the Origami Reference Room  
 高木 智 Takagi Satoshi

**も少し折紙散歩** 18  
 Origami Sampo (Origami Walk) Still Goes On  
**折紙散歩者の回想**  
 Recollections of an Origami Walker  
 前川 淳 Maekawa Jun

**世界の折り紙団体** 34  
 World's Origami Organizations  
**Origami Sociëteit Nederland (オランダ)**  
 A.M. van de Beek

■ カラーページ

**ORIGAMI PHOTO GALLERY** 20  
 解説・北條高史 Comments: Hojyo Takashi  
 「カタクリの花」田中具子／「八重咲きのてまり桜」  
 布施知子／「私の好きな怪獣たち」小笹径一／  
 「『絵本十寸鏡』巻下 髪置きの祝い宮参り」高木 智・蔵  
 Dogtooth Violets: Tanaka Tomoko／Cherry Blossom  
 Ball: Fuse Tomoko／My Favorite Monster Superstars  
 : Kozasa Keiichi／The Rite of Kamioki from *E-hon*  
*Masukagami III*: Owned by Takagi Satoshi

■ クローズアップ Close-up

**龍神を作る** 11  
 Making and Developing of  
 the Ryu Zin: Eastern Dragon  
 神谷哲史 Kamiya Satoshi

■ 折り図 Diagrams

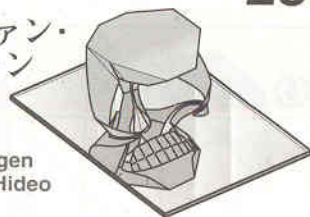
**シロナガスクジラ** 22  
 Blue Whale  
 作・折り図: 神谷哲史  
 Model and Diagrams by Kamiya Satoshi

**髑髏** Skull 28

作: ヘルマン・ヴァン・  
 グーベルジャン

折り図: 小松英夫

Model designed  
 by Herman van Goubergen  
 Diagrams by Komatsu Hideo



**展開図折りに挑戦!** 33  
 Crease Pattern Challenge

**オリヅル日記**  
 My Observations of Orizuru  
 田中将司 Tanaka Masashi

**JOASからのお知らせ** 35  
 A Note and a Reminder from JOAS

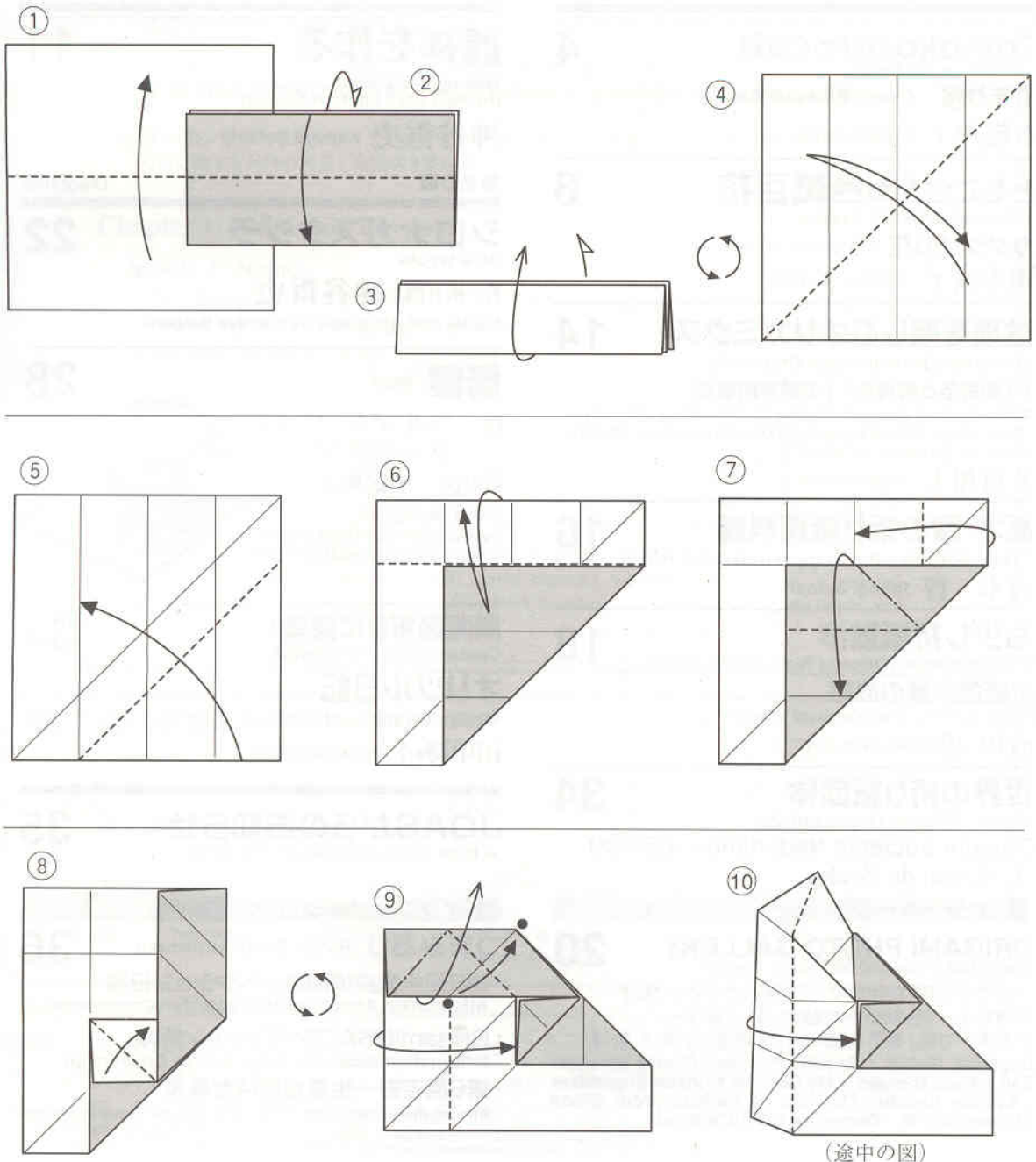
■ インフォメーション

**つまみおり** Rabbit Ear (Information) 36

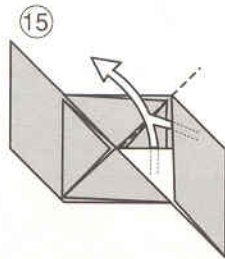
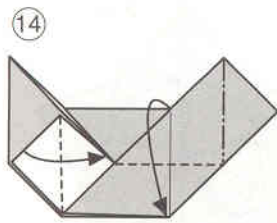
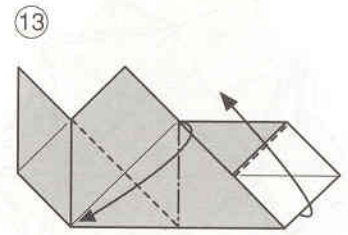
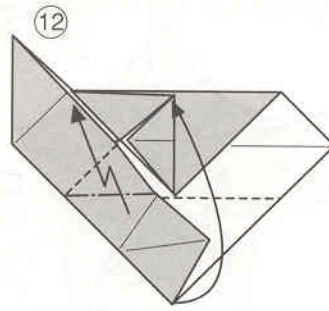
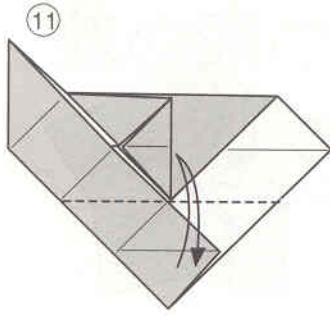
- ・第8回折紙探偵団コンベンション日程  
 Information About the 8th Tanteidan Convention
- ・OrigamiUSAコンベンション情報  
 Information about the Origami USA Convention
- ・第6回吉野一生基金招待者募集  
 Information about the 6th Yoshino Issei Fund Invitation

# てまり桜

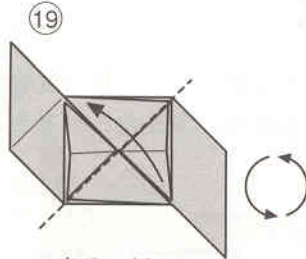
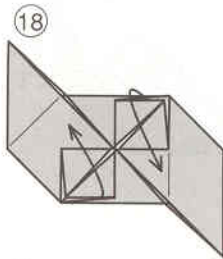
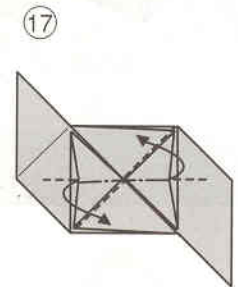
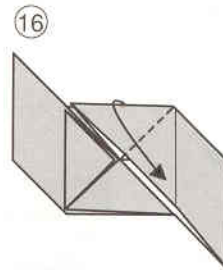
桜をモチーフにしたユニット立体には、川村みゆきさんの「桜」、川崎敏和さんの「桜玉」があります。そこに私も加わって「てまり桜」です。しっかりと組み上がります。用紙は12cm角以下がいいようです。紙面に余裕ができたので、「鶴の頭の簪袋」も紹介します。



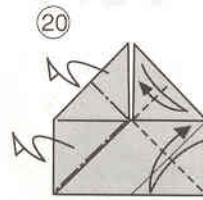
(途中の図)



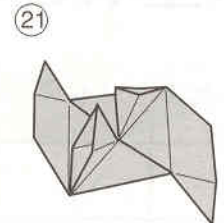
中を引き出して、もう一方と同じ状態にする



半分に折る

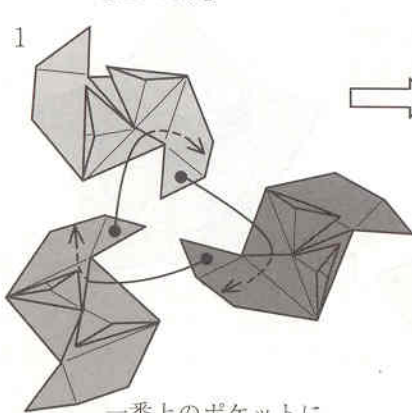


図のような折り線をつけたら開く

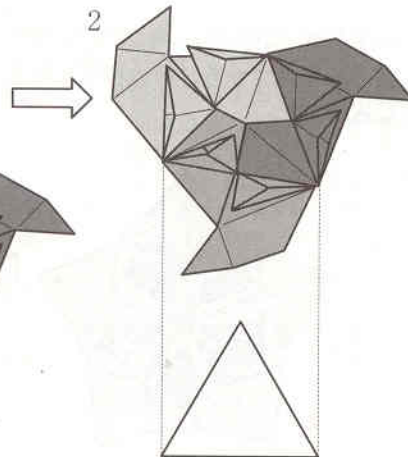


(×30)

[組み方]

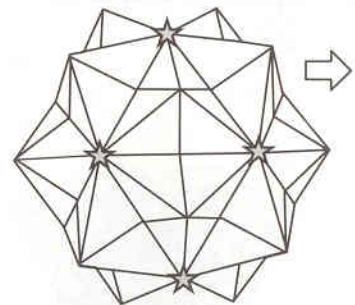


一番上のポケットに、ひとつ稜線を越えて差し込む



底面の形

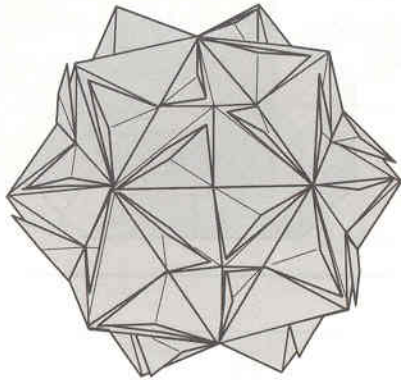
次のページへつづく



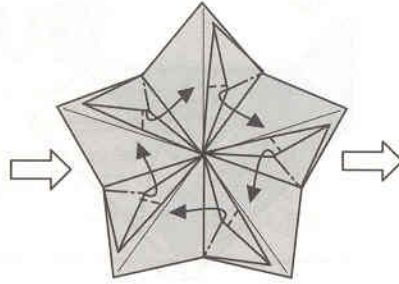
☆印に三角が5つ集まるように組む



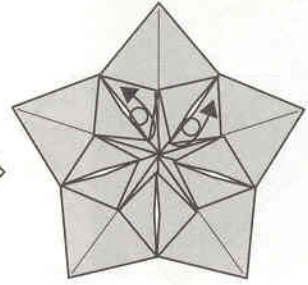
[一面を真上から見た図]



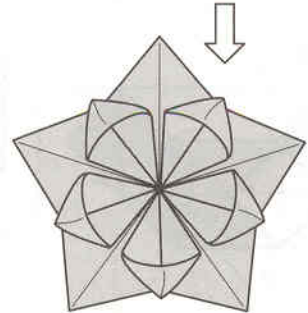
30枚を組んだところ



花びらを開く



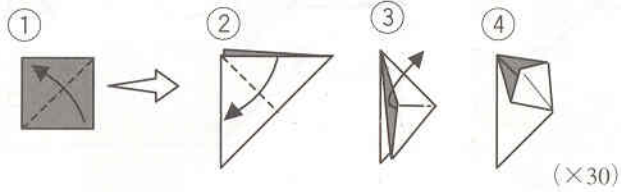
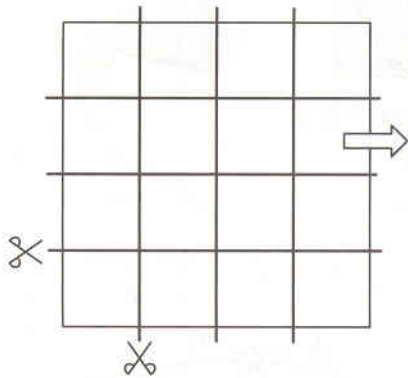
花びらの先をカールする



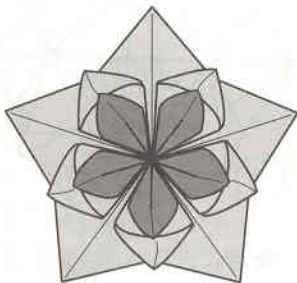
## 八重咲きのてまり桜

▶ 中に入れる花びら ◀

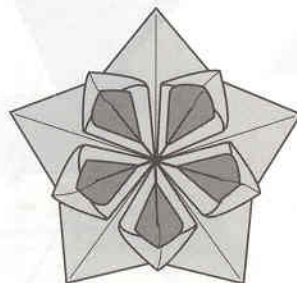
てまり桜は、中にもう一枚（数枚でも可）花びらを入れて、豪華な八重咲きにすることができます。



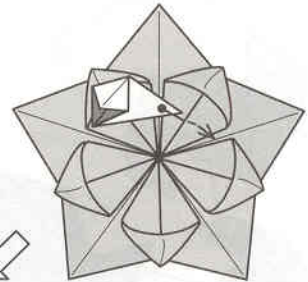
出来上がりがわりあい丈夫なので、30枚を組んでから、中の花びらを差し込みます。



図より大きめの花びらを、中心に寄せて差し込んだ場合

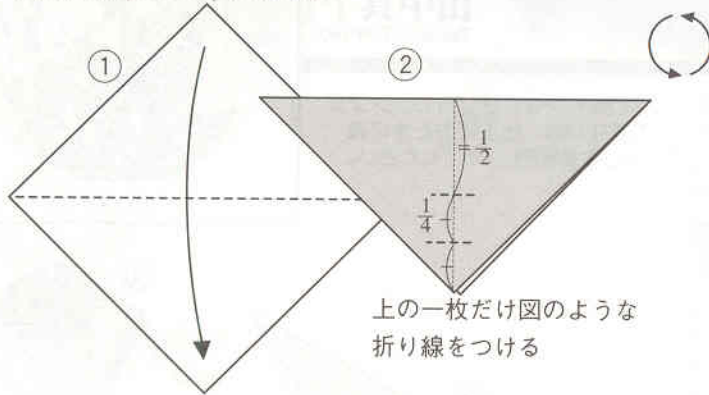
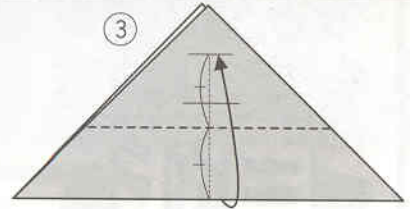
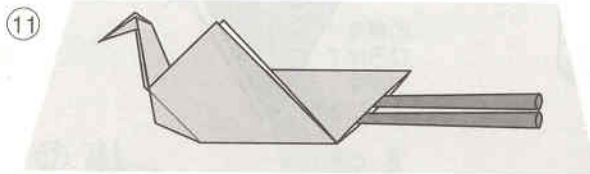
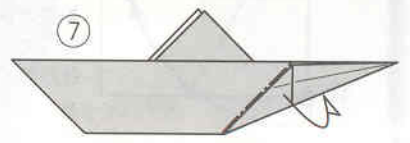
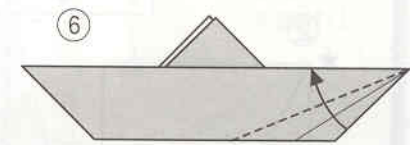
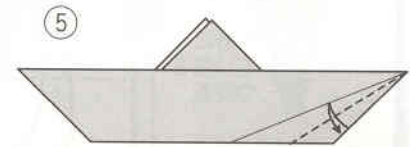
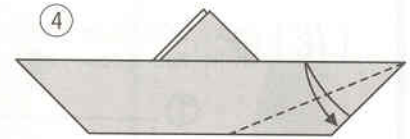


花びらを奥に差し込んだ場合

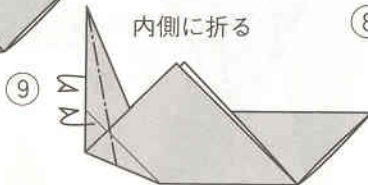


# かしら 鶴の頭の箸袋

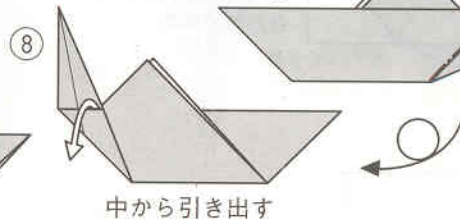
Crane-Shaped Chopstick Case

15cm 角の折り紙用紙  
が適当上の一枚だけ図のような  
折り線をつける上と一緒に図のような  
折り線をつける

中割り折り



内側に折る



中から引き出す

## ショートエッセイ 「鳥寄せ」

ここに住んでからずっと、冬場、小鳥に餌をやっている。年によって集まる種類は少しずつ違うが、ヤマガラ、シジュウカラが主体で、そこにコガラ、ゴジュウカラ、ベニマシコ、メジロなどが混じる。餌は30分くらいでなくなる量。

朝食をとりながら集まる小鳥たちを見る。いろいろな性格のがいて見飽きない。

昨冬から、餌台に運ぶ間が待ちきれなくてヤマガラの一羽が玄関先でまわりつき、ついには手に乗るようになった。

野生動物とはある程度距離を置くのがルールと思い、積極的に手に乗せようとはしなかったが、今年は、いつしかかなりの数のヤマガラが手

に乗るようになった。

で、私も手を差し上げて、おいでおいでをしてみちゃっている。この程度ならまあいいか、と思いつつ。羽ばたきの音、手に小鳥の爪が当たる感触。わくわくする。うれしい。

ひとしきり騒ぎがおさまったところで、餌台の雪をのけて餌を入れる。ビリビリする寒さの中で、テンのフンが凍ってこびりついていることもある。餌台は雪で相当埋もれているから、テンが飛び乗るのはわけないだろう。2年続きで大雪だ。

生ゴミ捨て場にも、いろいろな動物が来る。タヌキ、テン、ネコ、ヤマドリ、キツネ。雪上に足跡が印されている。

白昼「ウギヤ」とすさまじい声が上がると、駆けつけると、ネコとヤマドリが睨み合っていたりする。

ヤマドリの気迫漲る胸と、足を抜くような歩き方で去る姿に見とれる。とっさに、宮本武蔵ならヤマドリをどう描くだろう、と思う。

動植物、そのたたまいに、私はどれほど癒され、活力をもらうことだろう。つくづく山暮らしが性に合っていると思う。

折り紙もまた、性に合っている。作品が「決まる」心地よさ。

どんなときでも、折り紙が喜びの泉でありますように。私にとっても、みなさんにとっても。